九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

[032] 中国文学論集表紙奥付等

https://hdl.handle.net/2324/9905

出版情報：中国文学論集. 32, 2003-12-25. 九州大学中国文学会
バージョン：
権利関係：

編集後記

ここに『中国文学論集』第三十二号をお届けします。今年号は堂々一五〇ページを越える大冊となりました。特別寄稿三篇を含む、七篇の論考と訳注一篇を掲載することができたからです。ありがとうございました。

まず本学名誉教授岡村繁先生の論文は、文末「附記」に見えます通り、昨秋の「文藝座談会第二〇〇回記念講演」でのものを、ご寄稿いただきました。前号編集後記にもご紹介しましたが、六朝宋の山水詩の勃興、特に謝霊運の文筆活動の背景について、これを東晋末より劉宋初に至る当時の政治状況を詳細にたどりつつ考証されたもので、六朝文学研究の新たな見解として、後学の指標となるべき論考と拝読致します。

復旦大学中文系教授陳尚君先生の論文は、本年三月、第二〇三回文芸座談会においてご講演いただいたものです。近年陸続と出土される唐代の「石刻資料」をもとに、今後期待される新しい唐代文学研究のかたちをお示しいただきました。ご講演のレジュメをここに掲載させていただいたことは、本誌にとってまことに光栄なことです。なお当日は、北京大学の張健先生、われわれの外国人教師董上徳先生（中山大学）をまじえ、北京・上海・広州の三都会集の討論会ともなり、大変有意義な会となりましたことを、ここに申し添えておきます。

蘇州大学中文系教授王永健先生の論文は、洪昇『長生殿』各五十齣（出）を丹念に分析されたものです。本誌連載の竹村先生の『長生殿』訳注（本誌で第九号となる）とあわせて、本会誌が『長生殿』研究の重要な発信源となることは、大変意義深いことだと思います。

董上徳先生の論文は、清代初期の戯曲作家邱園の作品の逸文を発見されたというもので、抄録部分の写真を併載し、貴重なご報告となりました。このほか、野田雄史会員、岡村真寿美会員、王毓雯会員の各論文も、それぞれ戦国の時代風潮、唐末五代の民間における学術文化、清朝乾隆期の戯曲の動向を分析した優れた論考です。今後とも、本誌を介して活発な学術研究が行われることを希望致します。

（静永）